

# 東京本郷ロータリークラブ週報



2014-2015 年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーに輝きを」 東京本郷ロータリークラブテーマ 「地域社会に密着した奉仕活動を推進しよう。」

創立/平成3年3月13日(1991年)

事務局/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話:03-3238-5350 FAX:03-3238-5352 インターネットホームページ: <a href="http://www.t-hongo-rc.gr.jp">http://www.t-hongo-rc.gr.jp</a> E-mail: <a href="mailto:office@t-hongo-rc.gr.jp">office@t-hongo-rc.gr.jp</a> 例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場:ホテルメトロポリタンエドモント 電話:03-3237-1111 〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長:柴山修一 副会長:大住省一 会長エレクト:河合 洋 幹事:松岡 浩 会報委員長:飯田美里

# 5月27日 第1136回例会

本日の例会

ビュッフェ例会 -会員懇談-

# 5月20日 第1135回例会報告

# 卓 話

「組織の次なる成長戦略 "女性活用"を考える。 ~女性がイキイキ働くために~」

(株)リクルートエグゼクティブエージェント エグゼクティブコンサルタント

森本 千賀子 様紹介者 小野澤亮介会員



卓話をする森本千賀子様

## 会長報告

1. 先週に引き続き、多くのゲストがいらしております。

まずは鈴木 喬ガバナーエレクト、小林次年度

# 次回の卓話(6月3日)

2015年5月27日発行(No. 1090)

「江戸しぐさと心意気」

筝曲演奏家 伝統芸能コーディネーター 酒井 悦子 様

紹介者 渡辺新吉会員

地区副幹事にご登壇いただき、ご挨拶をいただきたいと思います。

つづきまして、次年度北分区ガバナー補佐 服部様、次年度地区副幹事 岸様からもご挨拶をいただきたいと思います。



鈴木ガバナーエレクト、小林次年度地区副幹事のご挨拶

#### 幹事報告

1. 青少年交換来日学生の帰国前報告会が開催されます。

日時:6月21日(日)15:00~20:00

会場:ホテルメトロポリタン池袋

青少年交換プログラムを理解するよい機会とな

ります。ご出席を希望される場合は クラブ事務局へご連絡下さい。

2. 青少年奉仕情報 第11号が届きました。枚数が 多いため、理事会メンバー並びに青少年奉仕委員

会各位のみプリントをメールボックスへ配布いた しました。

本日、回覧し例会後メール配信をいたします。 該当者以外の方はメール添付ファイルをご覧下 さい。

3. 米山奨学生懇親ボーリング大会のご案内が届きました。

日時:6月13日(土)17:00~20:30頃まで 集合場所:東京ドーム黄色いビル2F カウンセラーでなくとも参加可能です。

地区委員会としては、多くのロータリアンに参加いただき、米山奨学生と親睦を深めていただきたい。との事です。参加希望の場合は、クラブ事務局へお申込み下さい。

4. 5月20日次年度青少年交換会議があり、松下地 区副委員長が出席されます。

また、明日 21 日は地区職業奉仕委員会があり井田地区委員が出席されます。よろしくお願いいたします。

## 出 席

会員数:53名 欠席出席免除者:7名 出席数:29名

欠席数:17名 出席率:63.04% 4月22日修正後出席率:79.17%

ヴィジター:1名

クラブゲスト: 森本千賀子様(卓話講師)

鈴木 喬様 (ガバナーエレクト) 小林光夫様 (次年度地区副幹事) 服部支朗様 (次年度ガバナー補佐) 岸 義之様 (次年度分区副幹事) 髙橋 哲様 (地区青少年交換委員)

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY



服部次年度北分区ガバナー補佐、 岸次年度分区副幹事のご挨拶

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

#### ====BOX

# \* 鈴木 喬様 (ガバナーエレクト)

4月8日の地区研修協議会でお世話様になりました。本日は、担当小林副幹事と共に御礼のご挨拶にあがりました。ありがとうございました。

\*服部支朗様(次年度北分区ガバナー補佐) 木﨑重安様(次年度北分区分区幹事) 岸 義之様(次年度北分区分区副幹事)

次年度北分区ガバナー補佐 服部支朗、分区幹事

木﨑重安、分区副幹事 岸義之 3名がお伺いしました。次年度皆様方にお役にたてるよう頑張りますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## \* 髙橋 哲様(地区青少年交換委員)

お世話になります。来日学生のお引受を有難うご ざいます。後日あらためて学生をお伺いさせてい ただきます。

#### \* 小出 豊会員

妻の誕生祝ありがとうございました。

#### \* 新里時夫会員

鈴木ガバナーエレクト、地区研修協議会の設営に あたり、多大のご指導を頂き、有難うございました。

#### \* 大住省一会員

結婚祝戴き有難うございます。36年仲良く暮らしております。

#### \* 魚崎亮一会員

先月、クラブ競技で優勝したのですが、直後に左腰を痛めて、それ以降、ロータリーはじめ、すべての予定をキャンセルする破目になりました。例会も1ヵ月ぶりです。ご迷惑をおかけしました。そういうわけで、今日は1週遅れですが、雑誌の紹介をさせていただきます。

## \*林 一好会員

本日急用が出来欠席します。

#### \* 秋本康彦会員

誕生日お祝、妻への素敵なお花ありがとうございます。105年目を迎えた成田山の講元として無事にお詣りが出来たこと、関東クラブ対抗のキャプテンとしての責任を果たせた事を自祝して。

## \*山路敏之会員

- ①栗原さん、新世代会議お疲れ様でした!
- ②清水さん、いろいろとありがとうございます。

#### \*伊藤 守会員

卓話者の森本さん! 15年前にはいろいろお世話になりました。

===BOX

71,000円

累 計

1, 173, 400 円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

## 「第17回新世代会議報告書」

平成 27 年 5 月 16 日 青少年奉仕委員長 栗原浩之

日時: 平成27年5月16日土曜日

場所:文京シビックセンター 小ホール

参加者:58名

テーマ: 「伝えよう 筆の文化を」 講師: 水墨画家 中野素芳先生

冒頭、中野先生より簡単な自己紹介と水墨画との 出会いについてお話いただきました。 その後、中 野先生が平成27年3月に行われた「天地創造」と いう個展において、創作されたメインの水墨画を描 くシーンと、海外を訪問された折のDVDを上映。 その後、教室にて、初めて水墨画を書く生徒 さんに「なんでも良いから、感じたままを書いて ご覧なさい」という先生の問いかけに対して書か れた生徒さんの水墨画を披露、その書かれた水墨 画から、その生徒さんの現在の精神状態や、悩み などが見事に絵に現れるという事の解説。

インドやイギリスでの学校教育の現場視察を 通じて、日本の学校教育に欠けている「自主性の 尊重」や「先生の教育現場に臨む姿勢」などを問 題提起

また、日本の食文化が崩壊している点や、ITの発達で様々な物が便利になったが、大切な「心」を育む事が忘れられていると指摘。

これからの子供教育において、参加された親 御さんには大変参考になる内容だったと思いま す

反省点としては、企画が遅れ、集客に力を入れられなかったため、参加者が少なかった点は残念でした。

以上





水墨画家 中野素芳先生

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

「平和構築における ロータリーの役割を信じて」

ロータリー・ニュース:2015年5月19日

「もしこの世界にロータリーがなかったら?」ナイジェリアの慈善家、マイケル・オラワレ・コールさんは、こう問います。「世界的なポリオ撲滅活動がなければ、今ごろ世界中の何百万という子どもが

手足のまひに苦しみ、大勢が命を落としていたで しょう。ロータリーがあったからこそ、ポリオ撲滅 活動がここまで広がったのです」

オラワレ・コールさんは、1980 年代にラゴス州のイソロ・ロータリークラブに入会。「保健、インフラ、倫理、平和など、世界には問題が山ほどあります。ロータリーはこうした多くの問題に一つずつ取り組んでいます」。世界の最大の課題は平和と紛争解決であると考えるオラワレ・コールさんは、中東の紛争、ウクライナとロシアの緊張状態、母国ナイジェリア北部のおける過激派ボコハラムの脅威などを例に挙げ、今こそロータリーが平和に投資すべきだと言います。

2013年10月、オラワレ・コールさんは妻アデボラさんとともにアーチ・クランフ・ソサエティ\*に入会。さらにロータリー平和センターのための「チーフ・マイケル・オラワレ・コール基金」を設立し、平和フェローシッププログラムを通じたロータリーの平和構築活動を支援しています。「人びとがまず必要とするのは安全です。身の安全が脅かされていたら、教育、きれいな水、保健の改善を推進するのは困難です。ロータリーの取り組みの第一の焦点は、平和であってほしいと私は望んでいます」

保険、観光、経営コンサルティング、石油製造にかかわる事業を経営するオラワレ・コールさんは、「今の自分があるのはロータリーのおかげ」と言い、財団への支援は自らの義務だと考えています。「ロータリー財団に寄付すれば、一銭たりとも無駄にされずに責任をもって慎重に活用してもらえます。ロータリーだからこそ安心して寄付できるんです」

地区ガバナーを務めた 2005-06 年度には、ラゴスに「ロータリーセンター」を設立したほか、市民に水を提供するために 80 の井戸を設置を支援しました。「ロータリーと出会えて幸せです」と語るオラワレ・コールさん。「ロータリーの取り組みに心から共感しています。自分が寄付するだけでなく、ほかのロータリアンにも支援を呼びかけていくつもりです。ロータリーは今後もっと世界に貢献していけると信じています」

\*アーチ・クランフ・ソサエティ=財団に25万ドル以上を寄付した人を認証するプログラム。

# 本日の例会にて、

ロータリー財団寄付 2名 35,400 円 米山特別寄付 1名 10,000 円

のご寄付をいただきました。ありがとうございました。